



被災した校舎をありのままに保存
 ●こうれいさいしん せんだいしりつあらはましようがっこう

発 災当時、地域の指定避難所だった小学校。海岸から700m離れた同校には、2階まで津波が押し寄せましたが、避難した児童や教職員、地域住民など320人全員が助かりました。震災後に耐震改修工事を施し、校舎をそのまま遺構として保存・公開。津波による犠牲を再び出さないよう、津波の脅威や教訓を後世に伝えていきます。

1〜2階では損傷した姿を展示。4階展示室では、地震発生から避難、津波の襲来、そして救助されるまでの経過を写真と映像で振り返りながら、災害の備えについて学ぶことができます。また、荒浜地区の歴史や文化、同校の思い出なども紹介。2026年1月には防災教育コーナーも新設されました。徒歩7分の所には震災遺構仙台市荒浜地区住宅基礎もあり、津波により被災し、残った住宅基礎や建物の一部を見ることが出来ます。

4階にある「在りし日の荒浜」。荒浜地区の成り立ちや荒浜小学校の思い出などにふれている。元住民の協力のもと制作したジオラマ模型からは震災以前の町並みを想像できる



保健室や1年生、2年生の教室があった校舎1階では、廊下から中の様子を見学できる。展示されている写真は、最後まで学校に残った震災当時の校長先生が学校を出る前に撮影したもので



4階の展示室「3.11荒浜の記憶」。地震発生から27時間後の避難者全員の救出までを震災当時の校長や町内会長へのインタビュー、消防ヘリの映像などを織り交ぜ、約17分の映像で上映している

●せんだいし
仙台市

震災遺構 仙台市立荒浜小学校

被災した校舎をありのままに保存

仙台市の被害状況

最大震度 6強
 浸水面積 宮城野区20km²
 若林区29km²
 太白区3km²
 最大浸水高 19.7m

全壊 30,034棟
 半壊 109,609棟
 一部損壊 116,046棟

死者 923人
 行方不明者 27人
 負傷者 2,277人

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.1下段に記載の資料に準拠
 ※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

施設ガイド 車椅子OK
 ※要予約

施設DATA

しんざいいこう せんだいしりつあらはましようがっこう

震災遺構 仙台市立荒浜小学校

☎ 022-355-8517 MAP P115C4

④仙台市若林区荒浜字新堀端32-1
 ④仙台東部道路仙台東ICから車で10分
 ④9時30分～16時(7～8月は～17時)
 ④月曜、第4木曜(祝日の場合は開館)

🆓無料
 🆓あり(大型バス:あり)

<https://arahama.sendai311-memorial.jp>



考えてみよう

Q1 校舎1階で見られる、弓なりに曲がった壁や黒板、破損した天井などは、どうしてこのような姿になったのでしょうか？ また、2階の廊下などで見られる、床上40cmに残る跡は、何の跡でしょうか？



A1 津波が押し寄せた時の水の重さ、津波で流されてきた木材やがれきなどによってゆがみや破損が生じた。2階の床上の跡は浸水した跡。